

物流専門職養成カリキュラム

01. 着手（3～6回）

- －1 「F8Q」の把握・理解を確認
- －2 暗唱反復による基本事項の定着
- －3 専門職としての項目理解と長短軽重・過不足バランスの判断基準

02. 実務（8～15回）

- －1 作業分解
- －2 項目別仕訳
- －3 各項検証
- －4 考課
- －5 業務フローのチャート作成と摘要付記
- －6 フローの稼働状態把握
- －7 修正点の特定と代替案
- －8 再設計
- －9 工数算定
- －10 コスト試算と現状対比評価
- －11 OJTメニューの作成
- －12 OJT実施手法の習得
- －13 管理者としての確認事項（労務管理・業者交渉などの要点確認）

03. 現場実行（5～10回）

- －1 OJTの作業別ポイントを現場で再確認
- －2 作業員への説明とプリンティング
- －3 ルール順守の徹底チェック
- －4 作業時間の測定
- －5 設計との乖離・差異・違和をチェック
- －6 調整
- －7 上記4・5・6の再実施
- －8 一次導入の完了

04. 反復確認と稼働検証（3～5回）

- －1 業務フローの暗唱・口述を作業員に確認
- －2 現場巡回時のチェックポイント
- －3 業務フローと時間・コスト効率の再検証
- －4 用務フローと人員配置の微調整
- －5 マイナーチェンジが発生した場合、業務フローの再プリンティング
- －6 再びの総合測定

現場管理者養成

月額

450,000円～/人

現場担当者養成

月額

300,000円～/人